

『信頼される親になるために』

森 美智子 参与 講演

美智子先生のお話は、何度聞いても心に響くものがあります。

回を重ねる毎にお父様の姿が増え、今回も多くの方々が参加してくださいました。

-
- ・ 父親そして親の責任として、社会に貢献出来る人間に育てていけるよう精進したい。
 - ・ 母親の自分が子育ての中心のように思ってきたが、夫を責任者として、子ども達が父親の話聞く機会を作るように工夫したい。
 - ・ 「未熟な母性」「虚弱な父性」 耳に痛い話でした。
 - ・ 父として、母として、子どもにどう接していくべきか、あらためて考えるよい機会になりました。
 - ・ お話の内容を、夫にも聞かせてあげたい。お父さん、出番ですよ！と、伝えます。
 - ・ 子育てを妻に任せっぱなしでした。父親としての関わりを十分にもてていないことを反省しました。
 - ・ 改めて父親の役割の重要性を認識した。
 - ・ 子ども達に、夢や家訓を語る場面はなかった。夫婦で考え、共有し、子育てしていきたい。
 - ・ 父性をしっかり発揮して、子育てを頑張りたい。
 - ・ 親の責任として、社会に役立つ、そして、自分で生きていける大人に育てようと決意した。
 - ・ 責任、感謝、信頼、そして、愛情を持って育てる。
 - ・ 両親からの愛情により育てられ今がある…今さらながら、両親に感謝したい。
 - ・ 祖父母、父母に感謝の気持ちがこみ上げてきた。
 - ・ 両親に感謝しながら子育てしていきたい、子どもに感謝される親になりたい。
 - ・ 「子育ての成功（失敗）は、孫を見れば分かる。
 - ・ 子どもは褒められたいと思っている。私もそうだった。
 - ・ 子どもの声に耳を傾ける事がなく反省し、向かい合うと決意した。
 - ・ 夫婦仲良く、挨拶、笑顔、感謝、の言葉が大好きです。

『本学園の教育理念』

森 靖喜 学園長 講演

学園長による「本学園の教育理念」の講演です。保護者の皆さまにもしっかりと理解をしていただき、生徒たちにとって有意義な学園生活にしていきたいと思えます。

.....

1, 特に印象に残った点

- ・ 学園長 森靖喜先生の熱い思いに胸打たれました。道德教育を大切に…親としても考えさせられました。
- ・ 印象的だったのは、「日本の多神教は日本の包容力の表れ」という点です。包容力はある意味「応用力」であり、ひいては「社会適応力」につながるものです。我々の根っこにこんな誇るべき教え・礎があることを意識して行動することが大切と感じます。

2, お子様、もしくはご自身のために何か取り組まれようと思われたこと

- ・ 学園の教育理念に大変共感することができました。まずは「武士道」を熟読し、学び直したいと思えます。
- ・ 子供が社会に入り込めるように、生きていけるように、勉強することを習慣づけて、しっかり教え伝えなければいけませんね。
- ・ 親としても、サルから人間に変える教育をしていきたい。
- ・ 自然を大切にする日本に生まれてよかったです。日本に住んでいながら、日本を知らなかったと思いました。「武士道」読みます。
- ・ 現代の日本社会のゆがみや問題の根本がGHQによる洗脳教育にあることを知り、目からうろこでした。
- ・ 新たな価値観を取り入れなければならないように感じました。日本文化にも目を向け日本の古き良き価値観を感じながら子育てをしていきたいと思えます。
- ・ 神道を基準とし、日本人としての文化や感性を大切に身を正していきたいと、背筋が伸びる思いを致しました。

3, 本日の内容に関する感想や、今後期待する御意見 等

- ・日本人としての感性の教育が大切であることを理解しました。
- ・根っこの教育に感謝、与えてもらえていることへの感謝を子供が身をもって知り、前へ進んでいくことを望みます。親学に感謝します。
- ・神道にひかれていく中でご縁があり、私が社会で経験した個人主義や自由主義、男女平等に感じていた限界や違和感はこれだったのかと今があります。まだまだ自分が伝統的な価値観を身につけられていないので、子供に正しい教育が出来る状況ではありませんが、親学講座に参加を続け、成長していきたいと思えます。
- ・親として子供達に教えていけるよう、もっとがんばらなくては！と思っております。
- ・我が子が、中学生時代には見せることのなかった自分らしさ・明るさを発揮するようになってきており、親としても大変嬉しく感じております。
- ・先日、息子の学芸館の友人が5人我が家に遊びに来てくれました。その時私がおどろいたのは、とても礼儀正しく、あいさつもきちんとできていたこと、それからきものが玄関にきちんとそえられていたことです。またご近所さんにも挨拶を丁寧にしてくれたようで、ご近所からも褒められて大変うれしい思いをいたしました。
- ・私は、祖父母・両親に日本の伝統的精神をしっかり教えてもらえる環境の中で育ちました。いつの間にかそれが嫌になり、欲望のままに進んでしまい、親になってしまいました。でも、本心のどこかに親や家族から教えてもらっていたことが残っており、息子にはやはり日本の伝統的精神を教えていました。

『大学入試に向けての進路講演』

（株）ベネッセコーポレーション 学校カンパニー

藤井雅徳 氏 講演

恒例になっております「進路講演」です。7 月 6 日（土）に、2020 年に向けて、「新しいセンター試験がどのようになるのか?」「推薦 AO 入試がどのように変わっていくのか?」などの最新情報を解説頂きました。その後、文部科学省より「共通テスト」に関して、いくつかの見直しや導入延期などが発表されましたが、高校生に今求められている力については理解が深まりました。

.....

- ・それぞれの人生の節目で何を選択し、どのように日々を過ごすか、当たり前のことを当たり前にし、自分を探求し自分軸をつくること、そして表現し学び続けることを家族で話し合いたい。
- ・親世代が生きてきた時代と子どもたちが生きていく時代の違いを感じた。変わりゆく時代に対応できる人間に育ってもらいたいと思った。
- ・大学受験や大学入学が Goal ではなく、あくまで Start にすぎないということ子どもたちに実感してほしい。大切なことは継続して向上心を持ち続けることだと思う。
- ・今の社会に求められている人材がどのような人なのか。そうなるために何を準備しどんな進路へ進めば良いのか。理解できたような気がした。
- ・多くの資料を提示され、わかりやすく説明していただき、子どもに必要な力がわかった。文系でも数学が重要視されてくることを我が子に伝えようと思う。
- ・人生の前の方 1 / 3 に対する対処療法を教えていただいた気がする。100 年トータルでどう捉えるかが課題。
- ・勉強だけではなく部活動や探求学習、自己探求、コミュニティ形成などが問われる時代になる。興味のある分野を伸ばすことも重要。行動を起こす前に「自分はなぜこれをするのか。」ということ常を常に考え表現できるようになることが重要。
- ・自ら主体性のある学校生活を送り、常に学び続ける姿勢を求められる。主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を育む必要を感じた。
- ・大学入試にむけては学校生活がとても大切で、日々の授業や予習復習をしっかりと家庭学習を大切にしたいと感じた。
- ・入試制度について知識が増えたので、子どもと進路の話をするときにこれまで以上に役立つアドバイスができると思う。
- ・AI やビッグデータが今後の要となってくるなか、創造性を含めた人間力が重要になるというお話は、私自身の勉強になった。

第 110 回（11 月 9 日）親学講座 感想文

7つの習慣 J より『子供の未来をつくる親の言葉』

(株) FCE エデュケーション

川村洋行 氏 講演

恒例になっております「7つの習慣」の講演ですが、今年は7つの習慣に基づいた親の視点からの子供への声かけや関わり方についてお話しいただきました。

.....

1, 特に印象に残った点

- ・褒める内容について。褒めるのは努力、プロセス。素質や才能は×。
- ・パラダイムが行動に影響するという事。行動を起こす前に諦めてしまう像の事例には驚きました。
- ・自分に価値があると思っている日本の高校生は 36%しかいないという現実。アメリカは 9割以上。日本の子供の自己肯定感他国と比べ驚くほど低い。
- ・チャレンジカップの V T R。教師と生徒が心から向き合い、生徒の頑張りをサポートする先生。これほど素晴らしい教育ができるのかと思いました。
- ・親が真の子供の姿を映し出してやらなければならないということに身染みて感じました。(社会の鏡も本当に姿を映し出しているとは限らない、自分を映す鏡はコントロールできない)

2, 本日の内容に関する感想や、今後期待する御意見

- ・私が子供にとってかけがえのない母なんだと実感することができました。
- ・「親からの言葉」とありましたが、教師でも通ずると思いました。教師は児童、生徒の鏡であるべきだと思います。当たり前なことを当たり前に行う。この当たり前を共有して、一貫した指導が必要だと思い、取り組みたいと思いました。
- ・今の日本のこども達、モノの豊かさを見てみると、この先喜んでばかりはいられないと思います。システム化された日本の教育は、今や世界で通用しないと思います。自己肯定力。これを育てる教育をお願いします。7つの習慣は自己肯定力を高める第一歩だと思います。
- ・子どもと保護者がいっしょに参加できる講座もあればと思いました。空気感をシェアできると思います。

3, お子様、もしくはご自身のために何か取り組まれようと思われたこと

- ・ ついつい誰かと比較して評価する『水平比較』をしてしまいがちでしたが、昨日より今日、今日より明日の自分を評価する『垂直比較』を行うよう気持ちを切りかえていきたいと思いました。
- ・ 言葉は言霊（ことだま）となって、人生を変えるほどの力となります。言葉を大切に目標を口に出して生活してみたいと思います。
- ・ たくさん褒めたり、一緒に喜んだりして、いい『パラダイム』を作っていきたいです。
- ・ 良い関係を作るためには自分自身が変わらなければ何も始まらないと思いました。捉え方を変え、より良い方向への可能性を広げていきたいです。
- ・ 子どもの人生は自分で決めて切り開いていけるように、親の鏡で本当の姿を映してそれを言葉でも伝えていきたいです。
- ・ おでこに一時停止ボタンがあることを意識して、怒りがわいてきそうになったら押してみたいと思います。
- ・ 子どもが自信をもって幸せな毎日が送れるような「言葉がけ」をしていきたい。
- ・ 反抗期で何かと理解しにくい時が増えている娘ですが、『何としても子供をわかってあげたい』という思いを忘れずに、娘の可能性を伸ばせる親を目指したいです。